



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社串カツ田中ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3547 URL <http://kushi-tanaka.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 坂本壽男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 神山賢司 (TEL) 03-5449-6410
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年11月期第3四半期	12,339	19.4	694	23.8	723	17.0	424	28.6
2023年11月期第3四半期	10,337	31.2	561	—	618	△55.1	330	△61.9

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 426百万円(29.0%) 2023年11月期第3四半期 330百万円(△61.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年11月期第3四半期	円 銭 46.20	円 銭 —
2023年11月期第3四半期	35.94	35.94

(注) 2024年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年11月期第3四半期	百万円 7,598	百万円 2,523	％ 33.1
2023年11月期	7,009	2,215	31.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 2,512百万円 2023年11月期 2,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年11月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00
2024年11月期	—	0.00	—		
2024年11月期(予想)				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年11月期の配当予想額は、未定であります。

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	16,500	17.2	870	13.9	950	14.0	530	48.1	57.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
新規 一社（社名） 一 、除外 一社（社名） 一 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期3Q	9,428,280株	2023年11月期	9,428,280株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	238,208株	2023年11月期	238,206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期3Q	9,190,073株	2023年11月期3Q	9,189,339株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に、人材確保の必要性が強く意識されたことや賃金上昇圧力が強まったことから、雇用や所得環境が改善したことに加え、好調な観光産業やインバウンド消費の拡大により緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界的な金融引締め、急速な円安の進行や物価上昇等により実質賃金が減少し個人消費が低迷するなど、景気下振れのリスクは大きく、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費活動や旅行など人流の回復が見られるなか、コロナによる行動制限のない年末となり、各種イベントにより外食需要が好調に推移しました。また、外国人観光客数が増加しインバウンド需要も回復傾向にありました。一方で、継続した物価の高騰により国内消費者の節約志向の高まったこと、人手不足は深刻化しており一層の賃上げの実施と価格転嫁が必要な状況であることなど、経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のなか、「1,000店舗体制を構築し、串カツ田中の串カツを日本を代表する食文化とする」という長期的な目標に向け、中期経営計画（2023年12月から2026年11月）に掲げた各重点テーマにおける取り組みを実施しました。

串カツ田中の安定成長としては、おもてなしの徹底と楽しいひとときの提供を重要視した営業を行うとともに、持続的な新規出店を行うため、人材の確保や従業員の待遇向上・人材への投資の取り組みの一環として、12月の賃金から定期昇給を含め平均5%の賃上げの実施しました（特別昇給を含んだ場合の昇給率平均は8%）。また、原材料の高騰や物流業界における2024年問題に対応するため、物流倉庫集約化による物流コストの改善、商物分離による仕入れ価格の見える化やメーカーからの直接仕入れによるコスト改善を目指した体制整備を行いました。物流の変更は2024年3月1日に実施されており、安定的な移行を実現するとともに、仕入れ価格の見直しに着手し、収益性の向上に向けた物流改善の取り組みを実施してまいります。

新業態・新規事業の確立・展開による成長としては、「京都天ぷら 天のめし」（以下、天のめし）が、2024年8月12日（月）に京都市東山区の祇園町にオープンしました。天のめしは、「高揚する瞬間を、ザ・天ぷらテイメント」をキャッチコピーに、あつあつ揚げたての天ぷらと、ふっくら炊き立ての羽釜ごはんを提供する天ぷら業態です。国内のお客様に加え、インバウンド需要を多く取り込むなど、多店舗展開に向けさらなる磨き上げを行っております。今後も魅力的で競争力のある業態を開発し、当社グループの持続的な成長を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の店舗の出退店状況は、以下のとおりであります。

ブランド	期首	新店	退店	合計
串カツ田中	318	19	7	330
鳥と卵の専門店 鳥玉	3	1	—	4
タレ焼肉と包み野菜の専門店 焼肉くるとん	5	—	1	4
京都天ぷら 天のめし	—	1	—	1
TANAKA	2	1	—	3
合計	328	22	8	342

内装工事業は、当社グループの店舗出店に伴う内装工事等を内製化することにより、グループシナジーを創出し、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指すことにあります。直営店の出店の内製化を実行し、出店に伴うコスト低減を実現するとともに、グループ外からの受注も好調に推移しております。

ハウスミール事業は、前期において、株式会社 Antway が展開する手作りのお惣菜をサブスクリプション形式で提供する冷蔵宅配サービス「つくりおき.jp」と業務提携しました。当期において工場の新設工事を行い、5月に稼働開始いたしました。現在は、キッチンの生産性向上とフル稼働に向けた適正人員の確保に向け人材採用を強化している状況であります。

以上の結果、売上高は12,339,919千円（前年同期比119.4%）、売上総利益は7,492,885千円（同116.2%）、販売費及び一般管理費は6,798,248千円（同115.5%）となり、営業利益は694,636千円（同123.8%）、経常利益は723,351千円（同117.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は424,612千円（同128.6%）となりました。

なお、当社グループはセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度に比べ588,776千円増加し、7,598,308千円となりました。これは、流動資産が67,954千円増加し、3,674,879千円となったこと及び固定資産が520,821千円増加し、3,923,429千円となったことによるものであります。

流動資産の主な増減内容は、現金及び預金の減少112,952千円、売掛金の増加142,397千円であります。

固定資産の主な増減内容は、新規出店に伴う設備投資による有形固定資産の増加661,810千円であります。

一方、負債については、流動負債が287,813千円減少し、3,149,481千円となったこと及び固定負債が569,181千円増加し、1,925,803千円となったことにより5,075,285千円となりました。

流動負債の主な増減内容は、物流変更に伴う支払サイト変更による買掛金の減少223,966千円、賞与引当金の減少94,304千円であります。

固定負債の主な増減内容は、長期借入金の増加517,608千円であります。

純資産の主な増減内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益を424,612千円計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が119,470千円減少したことにより、2,523,023千円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,089,127	1,976,174
売掛金	830,980	973,378
商品及び製品	2,348	—
原材料及び貯蔵品	81,195	130,792
未収入金	336,254	103,168
未収還付法人税等	18,338	—
その他	249,706	494,471
貸倒引当金	△1,027	△3,106
流動資産合計	3,606,924	3,674,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,827,986	2,284,028
その他(純額)	326,411	532,179
有形固定資産合計	2,154,397	2,816,207
無形固定資産		
ソフトウェア	14,704	12,663
無形固定資産合計	14,704	12,663
投資その他の資産		
差入保証金	746,951	837,461
その他	652,355	480,796
貸倒引当金	△165,800	△223,700
投資その他の資産合計	1,233,506	1,094,558
固定資産合計	3,402,608	3,923,429
資産合計	7,009,532	7,598,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,006,723	782,756
短期借入金	373,344	253,347
1年内返済予定の長期借入金	802,698	880,532
未払金	262,284	338,864
未払費用	510,607	454,098
未払法人税等	136,779	126,809
賞与引当金	94,304	—
その他	250,553	313,074
流動負債合計	3,437,295	3,149,481
固定負債		
長期借入金	777,374	1,294,982
資産除去債務	252,038	276,692
その他	327,209	354,129
固定負債合計	1,356,621	1,925,803
負債合計	4,793,917	5,075,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,594	306,594
資本剰余金	844,972	844,972
利益剰余金	1,438,924	1,744,066
自己株式	△383,606	△383,610
株主資本合計	2,206,884	2,512,023
非支配株主持分	8,730	11,000
純資産合計	2,215,615	2,523,023
負債純資産合計	7,009,532	7,598,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	10,337,050	12,339,919
売上原価	3,891,411	4,847,033
売上総利益	6,445,638	7,492,885
販売費及び一般管理費	5,884,316	6,798,248
営業利益	561,321	694,636
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,399	11,997
協賛金収入	78,030	86,164
その他	50,502	19,673
営業外収益合計	134,933	117,835
営業外費用		
支払利息	10,345	11,286
関係会社貸倒引当金繰入額	56,000	57,900
持分法による投資損失	4,095	4,926
為替差損	—	9,736
その他	7,545	5,272
営業外費用合計	77,986	89,121
経常利益	618,267	723,351
特別利益		
固定資産売却益	—	4,858
事業譲渡益	33,057	10,000
資産除去債務戻入益	11,766	3,392
特別利益合計	44,824	18,251
特別損失		
店舗閉鎖損失	9,383	2,748
固定資産除却損	3,299	3,043
固定資産売却損	—	5,626
減損損失	26,872	—
特別退職金	12,697	—
特別損失合計	52,253	11,418
税金等調整前四半期純利益	610,838	730,183
法人税、住民税及び事業税	190,331	273,011
法人税等調整額	89,572	30,290
法人税等合計	279,903	303,301
四半期純利益	330,934	426,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	687	2,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,246	424,612

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	330,934	426,882
四半期包括利益	330,934	426,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,246	424,612
非支配株主に係る四半期包括利益	687	2,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、主に「串カツ田中」のブランドで、主に日本国内において串カツ店の店舗展開をしており、事業区分は「飲食事業」の単一セグメントになります。そのため、セグメント情報については、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

当社グループの事業セグメントは、「飲食事業」及び「内装工事事業」であります。そのうち当社報告セグメントは「飲食事業」のみとし、他の事業セグメントは重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	236,475千円	275,337千円